

ネットワーク運用管理サービスの高度化を実現する企業向けポータルサイトシステム

増田裕紀*
本部祐史*

Portal Site System for Enterprise that Achieves Upgrade of Network Management Service

Yuuki Masuda, Yuuji Honbu

要旨

三菱電機情報ネットワーク(株) (MIND)では、企業向けネットワークサービスとして、企業内のデータ系・音声系ネットワークの構築・運用サービスや、外出先からのイントラネットアクセスを可能とするモバイルネットワークサービスなど、様々なサービスを提供している。

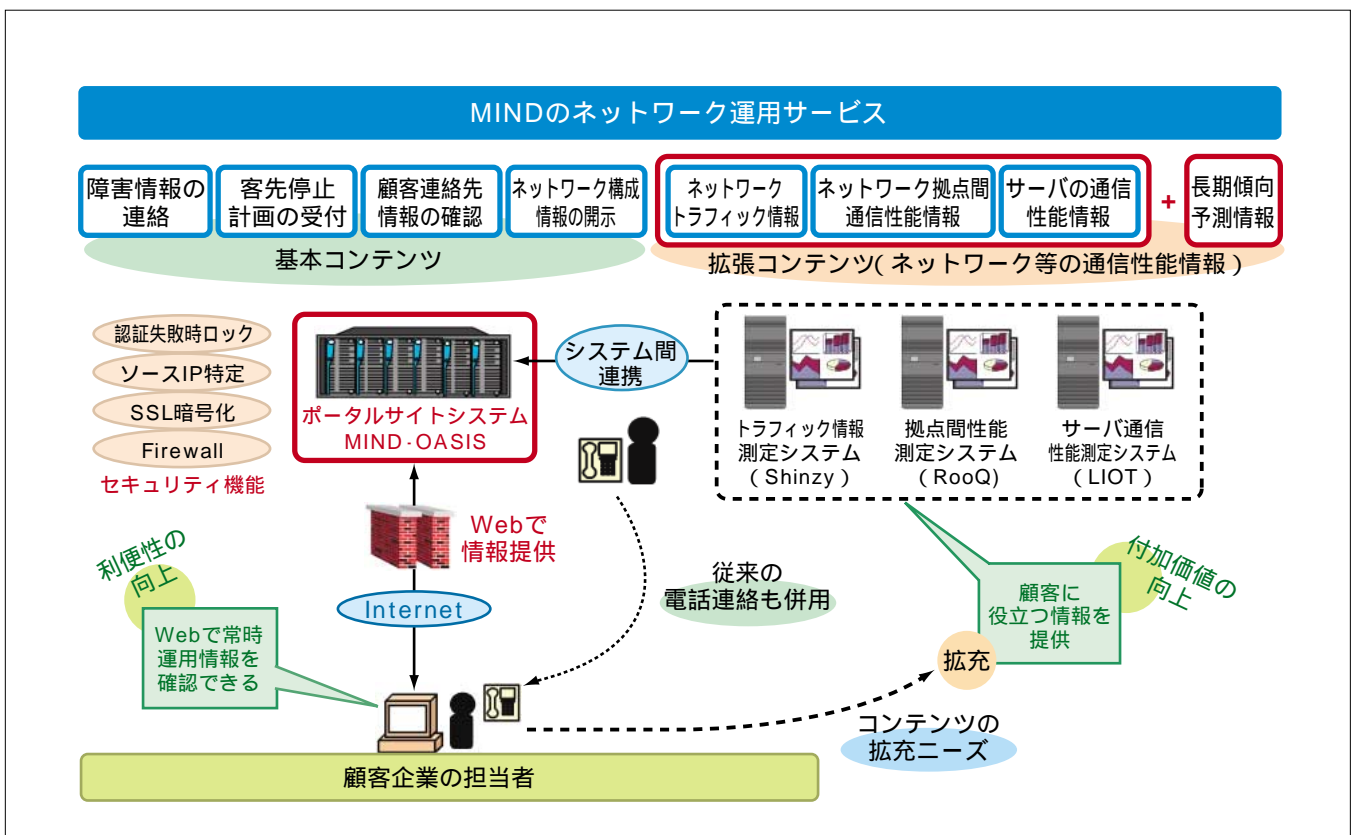
従来、これらネットワークサービスを提供していくためのユーザーとのインタフェースは電話やメールが中心であり、また運用情報を提供する媒体も紙、又は電子ファイルのメール送付がほとんどであった。

MINDでは、2006年に新ICX(統合運用管制センター)を立ち上げ、その一環として、ユーザーとの新たな運用インタフェースを実現するため、ポータルサイトシステム

“MIND-OASIS”(以下“OASIS”)を構築し、各種運用情報のWebによる提供を開始した。

OASISでは、顧客ネットワークの障害情報やネットワーク構成情報の開示といった従来電話や紙媒体で提供していた各種運用情報をWeb画面で開示する。また、ネットワークのトラフィック量や拠点間の通信応答性能など、ネットワークの性能を中長期的な視点から分析する各種システムとの連携を実現している。

現在は、顧客への公開を順次進めており、運用情報の公開ニーズを把握しつつ、顧客企業の情報システム部門にとってメリットのある“付加価値の高い運用情報”を拡充していくことで、運用管理サービスの高度化をめざしている。



企業向けポータルサイトシステム“MIND-OASIS”の概要図

障害の発生情報やネットワーク構成情報といった各種運用情報を基本コンテンツとし、さらにネットワークのトラフィック量などの通信性能情報を拡張コンテンツとして、インターネットを通じて顧客に提供する。